

# 医療人材養成拠点形成事業のご案内

文部科学省 大学教育再生戦略推進費

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

地方と都市の地域特性を補完して  
地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業  
～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～



宮崎大学  
University of Miyazaki

～世界を視野に 地域から始めよう～



東京慈恵会医科大学  
THE JIKEI UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE



KANEHIRO  
PROGRAM

— 令和7年度改訂版 —

# 令和4年度 大学教育再生戦略推進費

## ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、地域における医療体制の見直しや医師の地域偏在及び診療科偏在を解消する重要性が再認識されるとともに、高度医療の浸透や地域構造の変化（総合診療医の需要の高まり、難治性疾患の初期診断・緩和ケアの重要性等）を踏まえた新時代に適応可能な医療人材の養成といった課題が浮き彫りとなったところ、これらの課題解消に資するためにも、地域にとって必要な医療を提供することができる医師を養成するための学生への学部段階からの動機づけ・資質能力の育成を図る実習・講義等の教育プログラムの更なる充実が求められています。

本事業は、大学医学部における養成課程の段階から医師の地域偏在及び診療科偏在や高度医療の浸透、地域構造の変化等の課題に対応するため、将来、地域医療に従事しようとする意思をもつ学生を選抜する枠を活用し、地域にとって必要な医療を提供することができる医師の養成に係る教育プログラムの開発・実施を行う教育拠点を構築することを目的としています。

### ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

令和4年度予算額

8億円  
(新規)



#### 課題・背景

- 新型コロナウイルス感染症を契機に、医療人に求められる資質・能力が大きく変化。
- 高齢化の進展による医療ニーズの多様化や地域医療の維持の問題が顕在化。
- 高度医療の浸透や地域構造の変化（総合診療医の需要の高まり、難治性疾患の初期診断・緩和ケアの重要性等）により、従来の医師養成課程では対応できていない領域が発生、新時代に適応可能な医療人材の養成が必要。

#### 事業内容

##### 医療ニーズを踏まえた地域医療等に関する教育プログラムを構築・実施

- ◆地域ニーズの高い複数分野（総合診療、救急医療、感染症等）を有機的に結合させ横断的に学ぶことのできる教育の実施により、地域医療のリーダーとなる人材の育成。

- ◆地域医療機関での実習等を通じて、

- ①地域の課題を踏まえた教育研究の実現や地域医療への関心を涵養
- ②専門に閉じない未分化・境界領域への対応力を涵養

- ◆オンデマンド教材等の教育コンテンツの開発

社会環境の変化に対応できる資質・能力を備えた医療人材養成のための教育プログラムの開発及び教育・研究拠点の形成

支援期間： 7年間

単 価： 0.7億円

件 数： 11拠点（拠点大学を中心に医学部を置く国公立大学間で連携・展開）

＜地域医療の課題やニーズを踏まえた教育＞



◆地域医療現場を常に意識した教育・実践

＜地域医療機関での実習＞

◆地域の病院と大学病院の双方を経験・地域医療の課題を理解

◆オンデマンド教育の充実

＜オンデマンド教育の充実＞

#### 政策提言（経済財政運営と改革の基本方針2021）

##### 第3章 感染症で顕在化した課題を克服する経済・財政一体改革

###### (1) 感染症を機に進める新たな仕組みの構築

(略)あわせて、今般の感染症対応の検証や(略)潜在看護師の復職に係る課題分析及び解消、**医学部などの大学における医療人材養成課程の見直しや医師偏在対策の推進**などにより、質が高く効率的で持続可能な医療提供体制の整備を進める。

## 地方と都市の地域特性を補完して

## 地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業

### ～ KANEHIRO プログラム：病気を診ずして病人を診よ ～

本事業は宮崎大学と、宮崎県高岡町出身の高木兼寛を学祖とする東京慈恵会医科大学の間で締結された大学間包括的連携協定を基盤に、宮崎大学が代表校を、東京慈恵会医科大学が連携校を務めます。新たに確立する＜KANEHIRO プログラム＞では「キャリア形成卒前支援プラン」として、地域医療や多職種連携に関する講座型科目を拡充し、実習型科目の診療参加型臨床実習に地域医療、救急医療、総合診療、感染症に重点をおく専門コースを新設します。また、地方と都市の異なる地域特性を補完する単位互換制の交換実習を実施し、オンデマンド教材やVR・シミュレーションによる領域横断的な教育も展開して参ります。

地域枠と連動しながら、新たな時代の多様な医療ニーズに応え、診療にあたる地域を問わずに適切な医療を実践できる医師を養成し、地方が抱える医師不足や医師偏在の解消に資する教育モデルの確立を目指します。

令和4年度 大学教育再生戦略推進費「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

**地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業**  
 ～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～



代表校：宮崎大学／連携校：東京慈恵会医科大学

大学間包括的連携協定



**令和4年度以降**

地域枠A 10人  
・県内の高校卒業生（現役のみ）

地域枠B 15人  
・県内の高校卒業生（**既卒2年目まで**）

地域枠C（日本のひなた枠） 15人  
・**県内含む**全国の高校卒業生（**既卒2年目まで**）

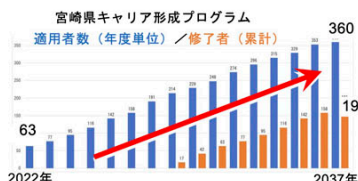
【宮崎大学医学部】

- ・令和4年度入学選抜から地域枠をA/B/Cの3枠に再編
- ・恒久定員内で地域枠を40名に拡充
- ・地域枠C「日本のひなた枠」（定員15名）を新設

**地域枠と連動した教育プログラム・コース ～KANEHIROプログラム～**

重点分野：地域医療学、救急・災害医学、感染症学、総合診療医学

地域医療や多職種連携に関する講座型科目を拡充し、実習型科目の診療参加型臨床実習では地域医療、救急医療、総合診療、感染症に重点をおいた6つの専門コースを新設し、地方と都市で異なる特性を互いに補完しながら、単位互換制の交換実習を展開



宮崎県キャリア形成プログラム

適用者数（年度単位）／修了者（累計）

2022年 63 2037年 360

| 二次医療圏 | 医師偏在指標 |
|-------|--------|
| 宮崎東諸県 | 292.2  |
| 日南半島  | 175.7  |
| 西都児連  | 154.6  |
| 都城北諸県 | 151.7  |
| 西諸    | 148.4  |
| 延岡西臼杵 | 143.9  |
| 日向入郷  | 137.6  |
| 宮崎県   | 210.4  |
| 全国    | 239.8  |

医師不足  
医師偏在

**解消**

**コース選択制診療参加型臨床実習**



高木 兼寛

④ 都市型総合診療コース  
⑤ 都市型感染症診療コース  
⑥ 都市型救急診療コース

単位互換制度に基づく学生交換実習

- ① 地域包括ケア実践コース
- ② 長期滞在型地域包括ケア実践コース
- ③ 地域連携型救急診療コース

**オンデマンド教材／VR・シミュレーション**

有機的に統合した領域横断的教育

遠隔対応

様々な地域の構造や特性を理解し、総合診療や救急医療、感染症をはじめとする新たな時代の多様な医療ニーズに応え、診療にあたる地域を問わずに、適切な医療を実践できる医師の養成



代表校の宮崎大学は「世界を視野に、地域から始めよう」をスローガンに、地域に根ざす国立大学法人としてのミッションを担い、特色ある教育・研究・地域貢献、国際連携などの大学改革に取り組んでいます。医学部では、教育・研究・診療を通して地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち、常に向上のための努力を惜しまない医師、研究者、教育者の育成に尽力しております。

宮崎大学医学部は、前身である宮崎医科大学として、昭和 49 年（1974 年）6 月に宮崎県民の強い要望と無医大県解消を目指す国の構想の一環に基づき設置され、その後、旧宮崎大学との統合を経て、令和 6 年（2024 年）に開講 50 周年を迎えました。

| 宮崎大学医学部 |       |                                                                                                                            |
|---------|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和49年   | 6月 7日 | ●宮崎医科大学設置(国立医科大学(宮崎県)創設準備室廃止)<br>講座開設(解剖学第一、生理学第一、生化学第一、病理学第一、微生物学、内科学第一、外科学第一、整形外科学)<br>学科開設(心理学、社会学、数学、物理学、化学、生物学、英語、独語) |


宮崎大学医学部は2024（令和6）年に開講50周年を迎えます。

**開講 50 周年**  
**記念事業**

次代を見据えた改革として、令和 4 年度入学者選抜から地域枠を A/B/C の 3 枠に再編し、恒久定員内で地域枠を 15 名増の 40 名に拡充したことに加え、全国の高等学校を対象に地域枠 C「日本のひなた枠」（定員 15 名）を新設し、キャリア形成プログラムに則った医師の養成と宮崎県地域医療の充実に取り組んでいます。

## だから、私は、宮崎から。

平均気温、日照時間、快晴日数、どれも全国トップクラスのあったか宮崎には、真っ青で広く高い空と、どこまでも透き通る海、豊かな自然に育まれた、美しい「ふるさと」があります(ご飯もめっちゃうまい!)。そんな「日本のひなた」宮崎から、あなたらしく、地域に愛される医師をめざそう。



明日の宮崎の医療を担うという  
強い意志を有する生徒を求めるために  
地域枠学校推薦型選抜を実施します。

医学生  
(受験生)  
募集!

地域枠A

10人

宮崎県内の高等学校を今年度卒業見込みの方

宮崎県内の高等学校を卒業後2年以内の方、又は卒業見込みの方

地域枠B

15人

地域枠C

15人

日本のひなた枠

宮崎県を含めた全国<sup>※</sup>の高等学校を卒業後2年以内の方、  
又は卒業見込みの方



連携校の東京慈恵会医科大学は宮崎県高岡町出身の高木兼寛によって創設され、建学の精神『病気を診ずして病人を診よ』を体現する医師を育てるべく「医学は学と術と道とより成る」を教育理念に掲げ、医師・看護師の育成、医学・看護学研究の振興、医療の実践を通して人類の健康と福祉に貢献することを使命に掲げています。



自然豊かな高岡町の風景

高岡町「穆園ひろば」にて  
(高木兼寛生誕の地)



高木兼寛が提唱した『病気を診ずして病人を診よ』の精神は「医学的力量的のみならず、人間的力量的をも兼備した医師の養成」に向けた思いが凝縮されたもので、本事業で新たに確立する教育プログラム・コースの基本理念となります。

コース選択制診療参加型臨床実習では、地域医療、救急医療、総合診療、感染症に重点をおいた6つの専門コースを新設し、地方の宮崎大学と都市部の東京慈恵会医科大学で異なる地域の構造や特性、医療ニーズを互いに補完し、単位互換制に基づいて学生を交換する診療参加型臨床実習を展開しています。



とくに、宮崎大学と宮崎県児湯郡都農町の連携協定に基づく「長期滞在型地域包括ケア実践コース」は、3ヶ月間にわたり都農町に滞在し、都農町国民健康保険病院で地域包括ケアを学ぶ、先駆的な取り組みです。

遠隔・オンラインで実施する「VR・シミュレーション実習」は、東京慈恵会医科大学が開発を担当し、宮崎大学や宮崎県内各地の臨床現場・教育現場とオンラインで結びながら、臨床現場に繋がる教育手法を導入する大学連携に基づく新たな取り組みとして、高い新規性と獨創性を有します。



この他、講座型科目、実習型科目を中心に、セミナー形式で実施する教育内容も含めたオンデマンド教材の共同製作/共同利用は、時間や場所に制約されず、繰り返し学習できる、ポストコロナ時代の医療人材育成に適応した受講環境を整備します。



## 連携校との連携体制や役割分担について

連携校の東京慈恵会医科大学は、宮崎県高岡町出身で脚気の研究成果から「ビタミンの父」と称される高木兼寛を学祖とします。宮崎大学医学部は、看護学科に「高木兼寛賞」を制定し、在学中の学業成績が最も優秀で、模範となる卒業生 1 名を表彰しています。また、高木兼寛顕彰会の主催で毎秋開催される「穆園先生ふるさとの旅」では、東京慈恵会医科大学及び慈恵柏看護専門学校の学生と宮崎大学医学部の学生が宮崎県高岡町にホームステイし、町民を交えながら交流を深めて参りました。

令和 2 年 3 月 3 日、東京慈恵会医科大学と宮崎大学は大学間包括的連携協定を締結し、令和 3 年度には医学科 5 年～6 年次：診療参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）において、単位互換制度に基づく学生交換実習を開始しております（令和 6 年度＝宮崎大学医学部 30 名が東京慈恵会医科大学で、東京慈恵会医科大学 3 名が宮崎大学で実習）。

### 令和2年 3月 3日 大学間包括的連携協定締結



本事業では、これまでの連携実績をもとに、地方と都心で異なる地域の構造や特性、医療ニーズを互いに補完し合う教育プログラム・コースを確立します。とくに、遠隔・オンラインで医療技術の習得・向上が期待される「VR・シミュレーション実習」は、東京慈恵会医科大学が開発を担当し、宮崎大学や宮崎県内各地の実習施設とオンラインで結びながら実践をはかって参ります。



## 都道府県、医療機関等との連携体制や連携の特色について

宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎県医師会と宮崎大学は、令和 2 年 10 月 26 日に「宮崎県医師養成・定着推進宣言」を発し、① 地域枠の適切な定員設定と医学生教育の充実、② 宮崎県キャリア形成プログラムに基づく若手医師の養成・確保、③ 医師の勤務環境の改善による県内定着促進、に重点をおき、関係機関が一体となった「オールみやざき」の連携体制を強化しています。



宮崎県及び宮崎県地域医療支援機構、宮崎大学医学部の連携により、毎春、宮崎大学医学部地域枠新入生や自治医科大学新入生を対象に「地域医療オリエンテーション」を開催しています。また、宮崎大学医学部地域枠入学生の全員を対象に、毎年 2 回、全体ミーティングを開催し、キャリア形成プログラムに関する説明や地域医療に関する意見交換、グループワーク等を実施しております。

宮崎県において、二次医療圏ごとの医師偏在指標（令和 6 年 1 月公表版）で全国平均 255.6 を上回っているのは宮崎東諸県医療圏 308.1 のみで、他の圏域は全国平均を下回っています。本事業では地域枠と連動しながら「様々な地域の構造や特性を理解し、総合診療や救急医療、感染症をはじめとする新たな時代の多様な医療ニーズに応え、診療にあたる地域を問わずに適切な医療を実践できる医師の養成」に尽力し、宮崎県内の医師不足や第二次医療圏間の医師偏在の改善、解消も視野に社会的インパクトの創出を目指します。

## 事業の実施体制について

- 1) 代表校を宮崎大学、連携校を東京慈恵会医科大学とし、事業責任者は代表校の宮崎大学医学部長が務めて事業を統括します。事業推進プロジェクトリーダー（兼・事業推進委員長）及び教育プログラム・コース責任者を宮崎大学医学部副学部長（教務担当）が務めます。
- 2) 事業推進プロジェクトサブリーダー（兼・事業推進副委員長）及び教育プログラム・コース開発・編成担当コーディネーターとして、代表校と連携校に各 1 名の教員を配置します。
- 3) プログラムを構成する各コースの開発・編成を担当するコースディレクターとして、各コースに 1 名の教員を配置します。
- 4) 本事業を推進し、必要な審議事項等を取り扱う「事業推進委員会」を組織し、必要な場合には委員以外（例：コースディレクター）にもオブザーバーとして参加を求めます。
- 5) 事務取扱は代表校:宮崎大学医学部医療人育成課（事務補佐員 2 名を新規雇用）と連携校:東京慈恵会医科大学教育センター（事務補佐員 1 名を新規雇用）が所掌します。
- 6) 宮崎県との連携は宮崎県地域医療支援機構大学分室長が主導します。
- 7) 宮崎大学医学部と東京慈恵会医科大学は令和 2 年 3 月 3 日に大学間包括的連携協定締結後、令和 3 年度から単位互換制度に基づく学生交換実習を開始しており、学生派遣・受入に関わる手続きや連絡体制は既に整備されています。



詳しくはホームページをご参照ください →

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/kanehiro/>



KANEHIROプログラムHPへ

文部科学省 大学教育再生戦略推進費

## 「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」

地方と都市の地域特性を補完して  
地域枠と連動しながら広がる医師養成モデル事業  
～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～



宮崎大学  
University of Miyazaki



東京慈恵会医科大学  
THE JIKEI UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE

～世界を視野に 地域から始めよう～

MIYAZAKIから医師をはじめよう！

地域枠入試制度／宮崎県キャリア形成プログラムのご紹介

|                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <br>宮崎大学医学部地域枠（学校推薦型選抜） | <p>「宮崎県キャリア形成プログラム」<br/>卒業後の将来の職業を定めた医師の確保とスキルアップを目的として実施されたプログラムです。</p> <p>医学部卒業後、臨床研修から9年間の医師の確保とスキルアップを目的として実施されたプログラムです。<br/>医師等（※）で勤務します。</p> <p>※医師等とは医師・歯科医師・薬剤師を指すすべての職種</p> <p>宮崎県キャリア形成プログラム</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

脚気の治療法を研究した“ビタミンの父”

高木 兼寛 KANEHIRO TAKAGI 1849 - 1920

宮崎県東諸県郡佐村白土坂（現・宮崎市高岡町移佐）に生誕

1881年 成医会講習所（東京慈恵会医科大学の前身）を開設

宮崎県郷土先覚者「高木兼寛」▶



お問い合わせ・ご連絡先

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

宮崎大学医学部 医療人育成課内

「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点事業」事務担当

TEL 0985-85-9795 / FAX 0985-85-0693